

新測協 だより

平成21年1月15日 発行

— No. 42 —

発行

社団法人 新潟県測量設計業協会

〒951-8131

新潟市中央区白山浦1丁目621番地22

大塚第3マンション201号

電話 (025) 267-1110 番

FAX (025) 233-2750 番

URL <http://www.shinsoku.org/>

E-mail shinsoku@oregano.ocn.ne.jp



目

次

新年のごあいさつ……………古川 征夫 (1)	越佐路とところどころ…………… (20)
新春知事あいさつ……………泉田 裕彦 (2)	測量設計業界を担う人たち…………… (28)
年頭のご挨拶……………篠田 昭 (3)	シリーズ『私』…………… (35)
年頭所感……………吉野 清文 (4)	県測協のうごき…………… (38)
年頭所感……………吉池 健 (5)	賛助会員紹介コーナー…………… (43)
新潟県土木行政の動向…………… (6)	6月3日は「測量の日」です…………… (44)
国土交通大臣表彰を受賞して…………… (9)	編集後記…………… (44)
中越沖地震の復旧を振り返って…………… (10)	新潟県測量設計業協会運営組織…………… (45)
中越沖地震被災現場の 測量調査を振り返って…………… (12)	役員名簿…………… (45)
委員会報告…………… (15)	委員会名簿…………… (46)
人材確保推進事業の実施状況…………… (18)	会員名簿…………… (47)
市町村合併の現状…………… (19)	賛助会員…………… (51)
	平成20年会員の動き…………… (52)

「新測協だより」は、中小企業人材確保推進事業によって発行しています。

表紙の写真

— 塩竈神社 —

主祭神は塩土老翁命で古事記では塩椎神とあり潮路を掌る神の意である。合殿に天照皇大神、水波売命が祀られている。
しおがま 承安3年(1173)創建、享保16年境内狭隘のため現在地に移建、神林村及び塩谷新田の産土神として信仰されている(神社由緒書より)。
しおづちのかみ

社殿内に孟宗の雪中笥図、韓信の股くぐりの大額などあり、信者の心情がうかがえる。
 境内には北前船の錨が置かれ、ここがかつて湊地であったことが推測される。町並も妻入りに出格子が施され、伝統的な風景が続く。裏通りは小高い砂丘となり、日本海の風砂に木目を露わにした板垣が点在する。河口港として古くからの要所であった場所からは日本海、荒川が一望出来る。村上藩が番所を設け、公儀之御法度之趣違背仕間敷事と定書を發し、厳しく取り締まった海河陸路の要衝の地でもある。

村上市は伝統のまちであり“おしゃぎり”や堆朱など工芸品が多数あり、又笹川流れや朝日スーパーラインなどの自然も豊かである。一度北限のお茶を喫しながら日本海に沈む夕日を眺める小旅行を計画されては如何でしょうか。

鎮座地 村上市塩谷1197番地(旧神林村塩谷)

写真と文 高橋秀雄